

「公共施設マネジメント基本方針」に基づく公共施設（建物）の検討について

財政課

【 基本的な進め方 】

公共施設（建物）の検討は、「飯田市公共施設マネジメント基本方針」（H26年度策定）に基づき、当面5年以内に方向性を決定する施設（優先検討施設）を選定し、具体的な施設の見直し実施に向けて段階的に取り組む。

1 第1段階として対象施設を絞った検討（平成27年度～）

「飯田市公共施設マネジメント基本方針」に対する飯田市行財政改革推進委員会の答申及び各施設の課題に基づき、その課題の緊急度や施設の老朽度、利用度、施設を取り巻く状況の変化を踏まえ「優先検討施設」を選定し、平成31年度までに5つの基本方針に沿って方向性を決定していく。

(1) 優先検討施設（裏面参照）

第1段階として14施設分野（175施設）を選定する。

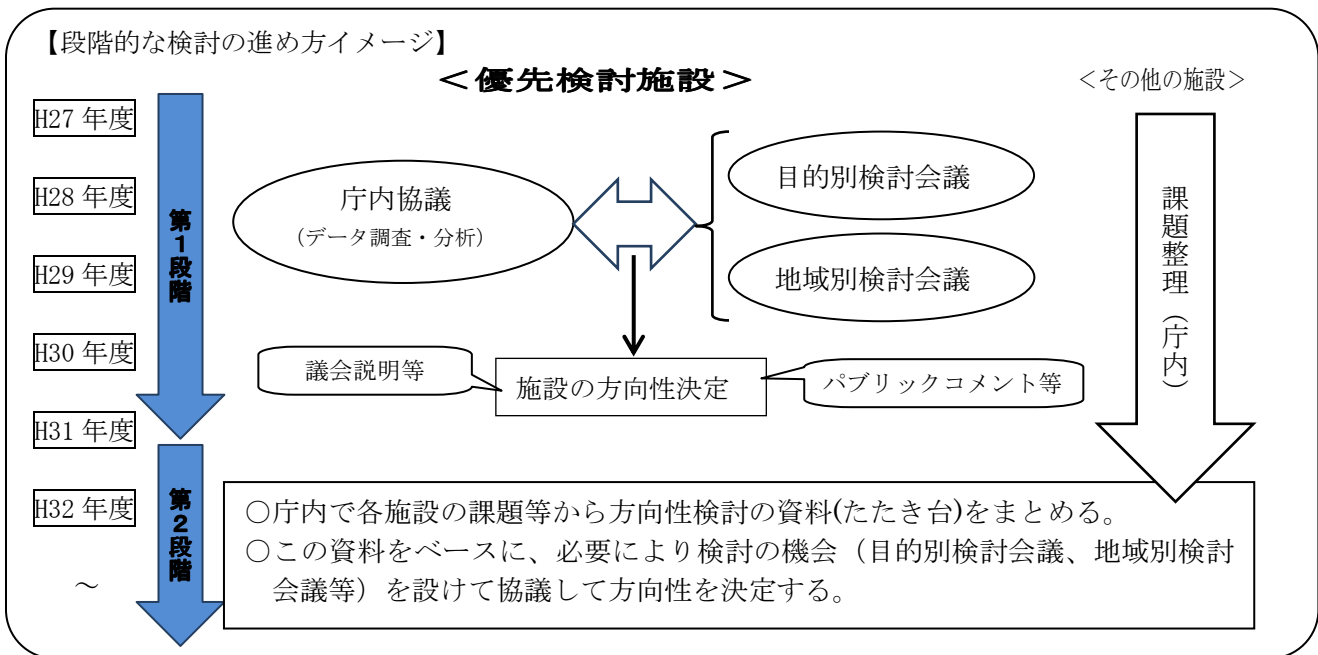
(2) 検討の進め方

- ① 市内において施設の状況・課題等を整理分析する。
- ② 施設利用の状況や課題を基にして、関係団体（含利用者）との協議（目的別検討会議）や地区での検討を行う（地域別検討会議）。
- ③ これらの結果から、施設の方向性を決定し具体的な見直しを実施する。

2 第2段階の検討（平成32年度～）

- (1) 第1段階を踏まえ、平成36年度を目途に全施設の方向性を明確にする。
- (2) そのために、各施設を所管する課等では、飯田市公共施設マネジメント基本方針の「分野別施設の現状と課題」に基づき課題を整理し、方向性を検討するための資料（たたき台）を作成して協議していく。

※状況の変化等で早期に検討すべき施設があれば、速やかに検討を行い方向性を決定する。



優先検討施設

No.	施設分野【検討項目】	対象施設数	行財政改革推進委員会からの答申（意見）	市としての課題
1	学校教育施設【教職員住宅】	66	教職員住宅は民間住宅の活用を進めるとともに、 <u>利用が見込めないものについては、用途変更及び廃止を進める。</u>	老朽度が高い施設が多く稼働率も約50%という状況から、教職員住宅のあり方や必要性を検証し、今後の方向性を明確にする必要があること。
2	学校教育施設【小中学校の教室】	28	社会教育施設の活用や地域の施設として、 <u>空き教室などの複合利用の検討を進める必要がある。</u>	市内小中学校の多くで児童・生徒数が減少していることから、地域の核である学校の施設を、地域等が有効利用できる可能性を検討する必要があること。
3	文化・生涯学習施設【文化会館ホール、市民館ホール、県文化センターホール】	3	文化会館、県文化センター、飯田市民館のホール機能を有する施設については、 <u>施設及び照明・音響設備等の老朽化が進んでいるため、リニア中央新幹線開通を見据え、施設のあり方、整備方針について検討を進める必要がある。</u>	ホール設備の老朽化により大規模な改修が喫緊の課題となっており、飯田市のこれからの見据えて、ホール機能のあり方を検討し対応策をまとめること。
4	文化・生涯学習施設（考古関係施設等）【飯田市考古資料館】	1	考古関係施設、民俗資料館、郷土館については、 <u>類似施設も多く保有しており、利用状況をふまえて、施設の統廃合を含めて検討を進める必要がある。</u>	施設の老朽度、利用者数の減少状況を踏まえ、市内に類似施設があることから統廃合も含めてあり方の検討が必要なこと。
5	文化・生涯学習施設（考古関係施設等）【北田遺跡公園】	1		茅葺屋根の改修を早期に検討する必要があるので、今後のあり方も含め協議が必要なこと。
6	スポーツ施設（弓道場）【上村弓道場】	1	弓道場については、施設の利用状況を踏まえて <u>施設の統廃合を含めて検討を進める。</u>	数年間利用が無く現在休場中。施設のあり方を早期に検討する必要があること。
7	図書館【県図書館】	1	図書館については、 <u>県図書館が耐震改修の必要な状況にあり、地域館・地区分館の運営状況を踏まえて、施設のあり方の検討を進める必要がある。</u>	施設の老朽度と耐震改修の必要があるため、早急に今後のあり方検討が必要であること。合わせて地域館（県・上郷）のあり方も検討が必要となる。
8	児童福祉施設（母子生活支援施設）【北方寮】	1	母子生活支援施設については、 <u>施設が老朽化しており、入所世帯数も年々減少傾向が続いているが、施設の目的及び時代の変化を踏まえ、他の施設の利用を含め、施設のあり方の検討が必要</u> である。	県では今年度、県内母子生活支援施設に関する検討予定があるので、その結果を参考として、 <u>施設の老朽度、入所世帯減少の現状を踏まえた今後の施設のあり方を検討</u> していく必要があること。
9	医療・福祉施設【福祉企業センター】 ※1	10	福祉企業センターについては、 <u>利用者の減少している施設もあり、利用状況や福祉支援制度の動向を踏まえ、施設の統廃合を含めて検討を進める必要がある。</u>	休止中の分場施設もあるので、まず、分場について早期に今後の方向性を整理した上で <u>福祉企業センター全体のあり方を検討</u> する必要があること。
10	産業観光施設【桐林勤労者福祉センター】	1	桐林勤労者福祉センターは、浴場・温泉プールについて隣接する桐林クリーンセンターの余熱を利用しており、 <u>桐林クリーンセンター移転後、浴場・温泉プールの廃止を含めて早急に施設のあり方について検討をする必要がある。</u>	平成29年に予定する桐林クリーンセンター廃止までに、今後の施設のあり方を検討する必要があること。
11	産業観光施設【天龍峡温泉交流館】	1		平成27年度から <u>現施設の改修を前提に指定管理による運営に移行した経過</u> から、早急に施設改修規模も含めてあり方の検討が必要であること。
12	産業観光施設【沢城湖周辺施設】	1	沢城湖周辺施設など観光施設の中には、 <u>老朽化や周辺環境・景気の悪化などで利用者が減少している施設が見受けられる。今後の施設のあり方について検討を進める必要がある。</u>	施設の老朽度、利用者数減少の状況を踏まえて、今後の方向性を検討する必要があること。
13	【上村・南信濃（遠山郷）産業観光関連施設】 ※2	31	上村・南信濃地区（遠山郷）産業観光施設については、 <u>施設の老朽化、利用状況を踏まえ、三遠南信自動車道・国道152号線の整備を見据え、遠山郷全体の観光振興・地域振興の視点から、総合的な施設のあり方について検討をする必要がある。</u> また、老朽化や周辺環境・景気の悪化などで利用者が減少している施設が見受けられる。今後の施設のあり方について検討を進める必要がある。	施設の老朽度、利用者数の減少の状況を踏まえ、将来的な遠山郷全体の観光振興・地域振興の視点から総合的な施設のあり方を検討する必要があること。
14	【市営住宅、福祉住宅】	29	市営住宅は、今後、老朽化に伴う改修や建替が必要となるが、 <u>少子高齢化・人口減少などの社会情勢の変化を踏まえ、民間アパートの活用や福祉施策での対応など含め、施設のあり方について検討を進める必要がある。</u> 福祉住宅については、施設の設置目的及び老朽化状況を踏まえて、施設のあり方について検討を進める必要がある。	施設の老朽度や少子高齢化及び人口減少を踏まえ、市営住宅等のあり方の検討が必要になること。
		175	※3	

※1 本場6施設、分場4施設

今宮福祉企業センター、上久堅福祉企業センター、県福祉企業センター、上郷福祉企業センター、南信濃福祉企業センター、上村福祉企業センター、南信濃福祉企業センター木沢分場、上村福祉企業センター中郷分場、下栗分場、程野分場

※2 上村16施設、南信濃15施設

木工センターとちの木、上村しらびそ高原施設（ハイランドしらびそ）、上村ミライ館（しらびそ付属施設）、上村簡易宿泊施設（高原ロッジ下栗）、上村農産物直売施設（はなば亭）、上村大平公園（大平保養センター）、上村大島河原河川公園、上村農産物加工施設（上村農産物加工所）、上村農産物直売施設（かみむら特産品直売所）、上村若者センター（喫茶かみ）、上村農産物直売施設（村の茶屋）、農産物加工流通施設（そば打ち道場）、南信濃農産物加工施設（旧ウッドアンドアース）、農業体験施設（滞在型農園 天耕の家）、旧パーフェクトゲージ工場、祭り伝承館「天伯」、山村民俗資料館「ねぎ屋」、上村民族資料館、総合・温泉交流館（かぐらの湯）、夜川瀬特産加工施設（お茶の子菜葉）、森林・林業情報発信施設（アパマ館）、和田特産物加工施設（殿町の茶屋）、木沢特産物等販売施設（梨元ていしゃば）、便ヶ島森林公園施設、南信濃簡易宿泊施設（島畑）、広場等利用施設（島畑付帯設備）、特産物加工施設（島畑付帯施設）、南信濃陶芸館、南和田特産物等販売施設（滝見の館）、野外体験学習施設（天仁の杜）、遠山郷土館

※3 全施設数754における対象施設数で全体の約23%。「飯田市公共施設マネジメント基本方針」における施設数825は、公有財産台帳件数。今回、建設年度の違いで管理のもの（例：市営住宅等）を整理。施設は平成26年3月31現在の状況。